

広報 しばた

8 since1961
2017.AUG
No.670



浴衣着付け教室

しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)の
着物着付愛好会の皆さんによる「浴衣着付け教室」。
浴衣の着付けを教わりながら、マナーや作法も学びました。

【写真:7月11日(火)船迫中学校】



船迫は北の羽山と南の白石川の挟間に広がる地域で古くから交通の要所であり、奥州街道の宿場町として栄えました。船迫をフットパスとして楽しむなら、目の前の「モノ」を見るだけではなく、道と川と人の痕跡をたどり、情景に思いを馳せつつ散策するのがオススメです。

船迫コースを歩く前に、まずは昔の白石川の流れと奥州街道を押さえてみましょう。白石川は、かつては今よりも北に大きく蛇行していて、奥州街道もその北岸に沿うように作られていました。現在のイオン船岡店の南側の直線道路（町道北船岡103号線）から船迫郵便局の南付近の関所跡から北へグッと曲がり、薬師堂から南東に進んで白石川へと戻るルートです。そのことを頭の隅に置いて歩くと、町中の水路や不自然に空いた空間などに元の白石川の跡が見えてくるの

で、目の前の風景に昔の姿を想像して重ね合わせると、より面白い景色となつてきます。この旧川筋の地図や奥州街道「船迫宿」の絵図が森合横穴墓群近くの公園などの掲示板に貼られています。



宮城県南部最大の横穴墓群とされる森合横穴墓群



蛇行する旧白石川の川筋が確認できる昭和31年の航空写真



「七曲がり半」と呼ばれる複雑に屈曲した道路（本船迫字上町）

さて、コースの中ほどにある、直角に曲がる道路のあたりが船迫宿だったエリアで、落ち着いた佇まいの屋敷が多く往時の繁栄が偲ばれます。クランクに曲がる道は全国にある城下町や宿町では一般的な作りで、外部からの守りのために見通しをわざと悪くしているのです。現代では車の往来には不備な面があり、それゆえに整備によって消えがちな道でもあります。特に船迫宿は「七曲がり半」と呼ばれる複雑に屈曲した道が特徴となつていますので、そんな見通しの悪さをも楽しみつつ進んでみましょう。



「お薬師さん」の愛称で親しまれる薬師堂

コース北東にある薬師堂も重要な立ち寄りポイントです。今も地域に親しまれる「お薬師さん」はお堂として見所になつているだけでなく、南方の眺めを確認できる場所でもあります。薬師堂から南には、奥州街道と旧河川筋の水路と袋状になつた田畑の風景が広がります。



「船迫宿」としての佇まいが残る通り（本船迫字下町）

特集 まちを歩こう



船迫フットパスコース



薬師堂付近からの眺め

そしてさらに、薬師堂の北背後になる船迫館跡の山上からの光景を想像しつつ、改めて南を眺めてください。目の前が旧河川の湿地帯。南の右手に見える小高い山は源義家（八幡太郎）の御座所や源頼朝が陣を置いたという伝説のある御殿山で、さらにその向こう遠くには船岡城があった四保山が見えます。船迫がまさに交通の要所だったことが実感できるエリアで、城の相對の仕方や兵の進退などを考えつつ歩くのもまた一興です。



川魚やトンボ、カワセミの姿を見かけることもあります



オプションルートとなる白石川旧河川跡

ゆっくり歩いて約90分のコースとなります。暑い時期はじゅうぶんに水分をとりながら散策を楽しんでください。



町民スポーツ大会



スポーツを通して体力の増進と町民相互の親睦を深めるため、町民スポーツ大会が開催されました。6月8日(木)から7月15日(土)にかけて6種目の競技が行われ、このうちゲートボール、ビニールボール、ソフトボール、グラウンド・ゴルフの4種目は8月27日(日)に蔵王町で行われる「宮城ヘルシーふるさとスポーツ祭」の出場を決める予選会も兼ねています。

夏の暑さにも負けず各種目で熱戦が繰り広げられました。

問 スポーツ振興課 ☎55-2030



第14回町民バドミントン大会

6月11日(日) 船岡体育館 62人 31組参加

- ダブルス1部
【優勝】 秋山 和士 山田 未紀王
【準優勝】 大宮 司 嶋田 雅人
【第3位】 石川 司樹 荒木 哲哉
- ダブルス2部
【優勝】 小林 貴志 林 清和
【準優勝】 佐藤 志帆 大槻 由衣
【第3位】 三瓶 彬 内山 裕士
- ダブルス3部
【優勝】 大沼 勝則 大沼 理香
【準優勝】 笠 博子 長田 香織
【第3位】 四栗 ゆかり 阿部 美樹子
 村山 琢也 岡崎 勝也
- ダブルス4部
【優勝】 近江 のり子 武山 昭彦
【準優勝】 鈴木 いく子 跡部 かおり
【第3位】 菅原 利枝子 大場 広子
- ダブルス5部
【優勝】 川村 泉 菊地 圭一
【準優勝】 菊地 由紀子 四釜 勝美
【第3位】 油井 普美 後藤 人江



第37回町民ゲートボール大会

6月8日(木) 総合運動場 33人 6チーム参加

- 【優勝】** 柴田さくら会
【準優勝】 新寿会A
【第3位】 船迫寿会
 長生会





第45回町民ソフトボール大会

6月25日(日)・7月2日(日) 総合運動場 阿武隈川グラウンド
並松グラウンド 377人 20チーム参加

- Aブロック
【優勝】 ブルドック
【準優勝】 新田
【第3位】 アルパトロス
 Bブロック
【優勝】 フィルダース
【準優勝】 葛岡
【第3位】 四日市場沖
三ヶ屋敷



第42回町民ラージボール卓球大会

6月25日(日) 船岡体育館 34人参加

- 男子シングルス1部
【優勝】 宮澤 則夫
【準優勝】 阿部 清吉
【第3位】 高橋 裕一
中村 勝彦
 男子シングルス2部
【優勝】 柴崎 文雄
【準優勝】 加藤 春治
【第3位】 佐々木 光男
我妻 弘宣
 女子シングルス2部
【優勝】 札木 道代
【準優勝】 佐藤 佳子
【第3位】 杉本 二千子
桜井 美佐子
 混合ダブルス
【優勝】 宮澤 則夫 後藤 トキ子
【準優勝】 阿部 清吉 吉澤 たい子
【第3位】 中村 勝彦 幕田 ハル子
高橋 裕一 高橋 孝子



第20回グラウンド・ゴルフ大会

7月15日(土) 総合運動場 168人参加

- 【優勝】** 佐藤 三夫(29A)
【準優勝】 松村 義明(上名生GG)
【第3位】 古山 勝義(槻木GG)



第55回町民ビニールボール大会

7月8日(土) 船岡体育館 57人 6チーム参加

- 【優勝】** 29A区
【準優勝】 パルティアーモ
【第3位】 EAST
チーム西住





138

柴田町長 滝口 茂

皆さん、旅行に出かけた際には、どんなところに興味を持たれますか。自然の美しさ、名所、旧跡、郷土料理、伝統工芸品など人それぞれだろうと思います。

私の関心事はなんといっても、街並みだったり、街路樹や公園の佇まいです。街路にはどんな樹木が植えられているのか、グラウンドカバーにどんな草花が植栽されているのか興味津々です。

多くの市民の憩いの場、そして観光スポットとなる緑の空間の形成は、これからの都市の発展には絶対に欠かせない装備だと思っています。

緑豊かな街路や公園を計画的に配置し、街全体の景観美を創造していくことを、「ランドスケープデザイン」と言うそうです。東京や仙台といった都市では、こうした計画に基づきオープンスペースが確保されており、美しい街路樹の下で、のんびりとコーヒーを飲んで市民の姿を見るたびに、うらやましく思っています。

柴田町自慢のランドスケープと言えるのが船岡城址公園や、白石川堤の佇まいです。「縦ノ木は残った展望デッキ」から眺める残雪を抱く蔵王連峰と白石川堤一目千本桜が織りなすランドスケープは、国内はもとより、

ランドスケープデザイン

タイ、台湾、香港等、外国のお客様までも魅了するほどになりました。ランドスケープデザインによる美しい都市空間の整備は益々重要になってくると思います。しかし、一方で、解決すべき問題も生じています。

公園の木々の落葉の処理、桜並木の老木化や腐食による倒木の危険性、病害虫対策、剪定や草刈等の管理上の問題です。

こうした頭を悩ます問題の解決策として求められているのが、行政や造園業者だけによる従来の育成管理でなく、住民との協働による新たな育成管理の仕組み作りです。

幸い町では、柴田町さくらの会の皆さんのような住民団体が育成管理に協力していただいております。また、船岡城址公園やしばた千桜公園、桜の小径への花木の植栽については、日本さくらの会や三菱UFJ環境財団等、民間団体からの寄付を受けて行っておりま

す。このように、私たちの町には、住民や民間団体との協働によるまちづくりの素地があります。皆さんで緑の空間を守っていききたいと思います。今後は、ランドスケープデザインに基づいた、景観形成方針を立て、四季の変化を五感で楽しめる、歩いて楽しい街並みや心をいやす緑の空間づくりを進めて参ります。

シリーズ 町民環境課 TEL 55-2113 FAX 55-4172

しばたecoライフ情報 ⑭

～環境にやさしいまちを目指して～

打ち水で夏を涼しく

日差しの強い日が続くようになりました。暑さをしのぐためクーラーや扇風機に頼りがちになりますが、庭に「打ち水」を試みてはいかがでしょうか。

打ち水は、水が蒸発する際の気化熱を利用して気温を下げます。

気化熱とは、液体が蒸発する際に触れている周囲から吸収する熱のことで、地面から熱を奪い、大気中に放出することで周囲の温度を下げる効果があります。

打ち水のやりかたは、庭の日陰や植物、エアコンの室外機周り、家の壁面などに水を撒くだけ。午前中の涼しいうちや夕方に行うと効果的です。

撒く水は、水道水を使わず、風呂の残り湯や溜めた雨水、ビニールプールの水、除湿機から出る水など、普段捨てる水を使うほうがよりエコになります。

暑い日に水に触れることで、体感的にも涼しくなる打ち水を皆さんも試してみてください。





健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ37

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第37回のテーマは、「^{けんこう}健口づくり」です。

おいしい食事を味わったり、友人と話をしたり、口の健康はからだの健康にもつながり、楽しい生活を送るために欠かせません。歯を失う原因の約3割はむし歯です。むし歯はむし歯菌、糖分の摂取、歯の質などの要因が重なって発生します。子どもの頃から「歯みがき」や「間食のとり方」など適切な生活習慣づくりが大切です。

槻木小学校で約40年前から行われている校医の歯科医師等による「歯科衛生指導」について紹介します。今年6月に1年生・3年生・5年生には飯淵歯科医院の飯淵信也先生が、4年生にはさとう歯科医院の佐藤郁夫先生が「歯科衛生指導」を実施しました。

1年生 エプロンシアターで「よく噛んで食べること」や「食後の歯みがき」などについてお話がありました。



3年生 活発に手を挙げ、先生に質問していました。真剣に手鏡を見ながら歯みがきをしました。



5年生 先生から、むし歯予防には、歯みがき、おやつとり方、フッ化物の利用、定期健診が大切とお話がありました。



4年生 先生から、むし歯の進行や顕微鏡を使用して歯こう(細菌)の説明がありました。歯こうを赤く染め出し、歯みがきも行いました。



飯淵歯科医院 飯淵信也先生から一言



槻木小学校では、全学年で「むし歯予防」と「食育」の指導を行っています。6年生時の永久歯のむし歯数は、平均0.8本まで減ってきました(全国平均0.84本)。小学生は「一生モノの歯が生える」大切な時期です。低学年時は「しあげ磨き」でサポートすることが大切です。また、かみ合わせや歯並びが悪くなっている児童が増えていますので、歯科医院で「かみ合わせチェック」をしてもらうことをおすすめします。今後も学校・保護者の方々と連携しながら「むし歯ゼロ小学校」を目指していきたいと思っております。

まちかど NEWS



白石市ホワイトキューブで行われた協定締結式
7月7日(金)には正式にホストタウンとして登録されました



水戸副町長と会談する
(右から) イリーナ・レパルスカヤ氏、
ビクトリア・イマナリ氏

ベラルーシ共和国新体操チーム 事前合宿決定

NEWS

6月14日(水)、2020年東京オリンピックに向けて、ベラルーシ共和国新体操ナショナルチームの事前合宿に係る協定を柴田町、白石市、仙台大学、ベラルーシ体操協会の4者で締結しました。今年から2020年にかけて仙台大学および白石市文化体育活動センター(ホワイトキューブ)の施設を活用して毎年1回事前合宿が行われます。

翌15日(木)には、ベラルーシ共和国新体操チーム関係者のイリーナ・レパルスカヤ氏(ベラルーシ共和国新体操ナショナルチームヘッドコーチ)、ビクトリア・イマナリ氏(ベラルーシ体操協会職員)が町を表敬訪問されました。

笑顔で長寿をお祝い

NEWS

お三方に共通しているのは、ごはんを三食きちんと食べること。これが長寿の秘訣なのかもしれません。町で100歳を超える方は、お三方を加えて16人になりました。



布の袋縫いが趣味の島貫さつきさん

船岡東3丁目の島貫さつきさん(大正6年6月28日生)、土手内2丁目の平間しなよさん(大正6年7月2日生)、西船迫2丁目の遊佐裕さん(大正6年7月6日生)がめでたく満100歳を迎えられ、ご家族らが長寿をお祝いました。



テレビで野球を見るのが大好きな遊佐裕さん



おしゃべりをするのが一番の楽しみだという平間しなよさん

初夏を彩る

「第4回しばた紫陽花まつり」

NEWS

6月16日(金)から7月9日(日)にかけて船岡城址公園で「第4回しばた紫陽花まつり」が開催されました。今年は例年より花が咲き揃うのが遅く、開催期間を1週間延長しました。期間中は約1万7千人が訪れ、色とりどりの紫陽花を楽しんでいました。

神奈川県横浜市から来たという女性は、「4月の桜まつりに来て感懐し、今日が最終日だと知って慌てて駆けつけました。ボランティアのスタッフの方に親切に案内してもらい、ますます柴田町のファンになりました」と話してくれました。

約3,000株の紫陽花が園内を彩りました



褒状の贈呈は、平成19年12月以来約10年ぶりです



交通死亡事故ゼロ 500日間達成

NEWS

町では、7月3日(月)で交通死亡事故ゼロ500日間を達成し、5日(水)に宮城県知事および宮城県警察本部長から褒状が贈呈されました。伝達式は、交通指導隊、交通安全協会などの関係者が見守る中で行われ、褒状を受け取った滝口町長は、「全国各地からの観光客が年々増えている中、関係機関と連携しながらさらに記録を伸ばし、事故のない安全な柴田町にしていきたい」と決意を述べました。

災害に備え

17B区自主防災会防災訓練

NEWS

7月16日(日)、第17B区自主防災会による防災訓練が、松ヶ越1号公園で行われました。

当日は区民127人が参加。1次避難所から2次避難所への避難誘導訓練のほか、バケツリレーや消火器による初期消火訓練、けが人の応急手当などを行う救出・応急救護訓練、AEDを用いた救命訓練などが行われました。

自主防災会会長の加納義雄さんは、「訓練はもとより、区民が集まってお互いコミュニケーションを取ることも、災害時に役立つのではないかと感じます」と話してくれました。

参加者は一生懸命訓練に取り組みました



客席と一体感がある舞台上、大いに盛り上がりました



久しぶりの新作劇 福祉劇団「鶴亀」

NEWS

7月10日(月)、柴田町地域福祉センターで福祉劇団「鶴亀」の公演がありました。地域福祉センターで毎月開催されている「サロンコンサート」内での短時間での上演となりましたが、約2年ぶりの新作の上演とあって多くの観客が訪れ、笑いあり、歌ありの新作「みんなの一生」を楽しんでいました。

監督を務める加茂紀代子さんは、「新作だったこともあってバタバタしてしまった部分もありましたが、あと2公演予定されているので頑張ります」と話してくれました。



はばたけ世界へ
南東北総体 2017

繋がる絆 魅せる僕の若さ力

平成29年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
第85回日本高等学校選手権水泳競技大会
種目/男子水球

開催期間/8月17日(木)~20日(日) 会場/ヒルズ県南総合プール

(柴田町大字本船迫字十八津入)

☎ スポーツ振興課 ☎55-2030

こうほう 文芸

短歌

曇空雨よ降れよと手を合わす
農家の民の祈り届けよ
船岡 可沼 妙子
チヨコマカと背中て手を組み歩く孫
爺のマネツこ次は何かな
本船迫 森田 眞六
うそと云ふ鳥は知ってるつもりだが
うそをつくるふ、政治家のうそ
大槻 信吉

ばあばいい「ほんとにいいの」はいどうぞ
障子張る手と破る手あり
船岡 伊藤タイ子
しらしらと夜明けてゆきかすかなる
世の音聞こゆ小鳥の声も
船岡 沢田 順子

川柳

虹見たよ空に大きく一筆画
槻木 村上 紫寿
おじぎ草何回会つてもおじぎする
西船迫 安ヶ平良三
老一人至福の時わ我が家風呂
槻木 大宮 二郎
トランポリン親の重みて子が踊る
西船迫 後藤 文字
夏野菜最初の一コは孫の口
船岡 小林 夢子
耳遠し顔と顔とて会話する
西船迫 舟廻めぐる

朝取りの胡瓜ぬか床待つている
船岡 阿部美代子
ケアホーム自慢と愚痴をくり返し
下名生 笠松ふみ子
見てるだけ健康器具に囲まれて
西船迫 下浦 智子
パソコンにスマホに歳なり追いつけず
西船迫 渡辺 晴江
雨の中色かすみてあやめ咲き
槻木 つきのき町子

俳句

紫陽花や雨がほしいと天あおぐ
船岡 可沼 妙子
野仏の目元やさしき善哉の花
下名生 笠松ふみ子
フットパス光の陰へと糸とんぼ
西船迫 安ヶ平奈津枝
風なびく早苗の色増す深き雨
船岡 安藤 節子
しとやかな梅雨はどこやらモンスター
葎神 葛
玫瑰や宗谷の海の鈍色に
中野西範子
葦切に風の音響ととのえり
石垣テル子
架け橋は一夜の思ひ星祭
制野 千秋

向日葵や深き迷路に子等の声
遊佐 徹
大きゆうり叩いてみれば水の音
山家美智子
待ち通し復活火花山湖
三塚 直樹
紫蘇を揉むはのはの手の平重ねつつ
及川美沙子
橋渡る制服濡れて青しぐれ
藤原 恪子
揚羽舞ふ影くつきりと石畳
若月ノリ子
あぢさゐの白き毬なり異界なり
大久保和子
弓なりに反りし国家や炎暑来る
浪山 克彦

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで8月10日(木)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111



柴田町の 記憶 をたどって

待ちに待った夏休み。
いつの時代も子どもたちは暑さに負けず
元気いっぱいです。



昭和41年、槻木小学校・中学校のプールの様子。
楽しそうな歓声が聞こえてきそうです。

平成2年、虫取りをする子どもたち。
最近この姿を見かけることが少なくな
ったように気がします。



こども美術館



「どうぶつたまご」(絵)

西住小学校2年

にい つま る る
新妻 瑠々さん



「校舎」(絵)

西住小学校5年

ひわたし あや と
樋渡 彪斗さん

Vol.46
思いを胸に

『快適で衛生的な水廻りを』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



パソコンを使って設計の作業を行う富沢さん

有限会社富沢設備工業所

富沢 一史さん(25歳)
とみざわ かずふみ

仙南地区を中心に、一般家庭の給排水工事を手掛けている有限会社富沢設備工業所の富沢一史さんを紹介いたします。見るからにがっしりとした体つきで、

何かスポーツをしているのか伺うと、中学生のときからソフトテニスをしてると言う富沢さん。仙台大学在学時には、自らプレーする傍ら母校の中学校のソフトテニス部で外部コーチとして指導していました。子どもたちに教えることが好きで、教師を目指した時期もありましたが、祖父の代から続く会社を幼い頃から間近で見ていたこと

もあり、「教師にならなくても教えることはできる」と考えて入社を決意したそうです。入社3年目になる富沢さんは、水廻りの配管の設計や町などに提出する書類の作成を主に担当しています。

「お客さんが衛生的に水廻りを使えるように工夫していますが、給排水設備工事だけでは家はでき上がりません。自分が設計を手掛けた新築の家が完成したときは、みんな建てたという実感があって嬉しいですね」と仕事のやりがい話をしてくれました。また、「分からないことがたくさんあるので、もっと仕事を覚えて、自分ができることを増やしていきたいです」とも話し、一定年

数以上の実務経験が必要な「管工事施工管理技士」などの資格取得に向けて日々勉強しているそうです。

趣味であり、特技でもあるというソフトテニスは今でも続けており、母校の外部コーチとしての指導も忙しい合間を縫って毎週行っているそうです。

町の印象は「どの問いにも「館山のテニスコートから見える船岡城址公園の桜ですね」と、どこまでもテニスの話題が尽きない富沢さん。テニスで培った粘り強さと、その若さでこれからも頑張ってください。」

有限会社富沢設備工業所

柴田町大字船岡字大住町1-6
TEL 0224-53-3211



昭和49年設立。仙南地区を中心に排水設備指定工事店・指定給水装置工事事業者として、主に一般家庭の給排水設備の工事を手掛ける。従業員6人。

人口と世帯数
(平成29年7月1日現在)



38,117人
(前月比6人増)



19,089人
(前月比7人増)



19,028人
(前月比1人減)



15,619世帯
(前月比9世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。